

南庁舎の建物について

1 南庁舎諸元

南庁舎は、昭和 56 年に旧岐阜郵便局の土地及び建物を買収し、開設された。

構造規模	地上 4 階搭屋 2 階建 鉄筋コンクリート造
敷地面積	3,104 m ²
延床面積	4,986 m ²
竣工年次	1960 年（昭和 35 年）
開設年次	1981 年（昭和 56 年）
経過年数	58 年（2018 年）
法定耐用年数	60 年
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設から 50 年以上経過し、建物本体、設備とも老朽化が進行しています。 ・ 新耐震基準が導入された 1981 年（昭和 56 年）以前の建築物ですが、2011 年度（平成 23 年度）に耐震化工事を実施しています。

2 南庁舎の建物の考え方

継続使用の問題点

- ・ バリアフリーの諸基準の不適合（トイレ、エレベーター規格等）
- ・ 建物本体と電気、空調等各種設備の改修が必要

Ex1) 建物の大規模改修に係る費用想定

$$25 \text{ 万円} / \text{m}^2 (*1) \times 4,986 \text{ m}^2 \text{ (延床面積)} = \underline{\underline{\text{約 12.5 億円}}}$$

(*1)岐阜市公共施設等総合管理計画の策定の参考とした、財団法人自治総合センターが取りまとめた地方公共団体の財政分析等に関する調査研究会報告書において、行政施設等の大規模改修費が 25 万円 / m²と示されている。

Ex2) 建物取壊し費用について

本庁舎建物（延床面積：17,440 m²）の取り壊し費用⇒約 9 億円（見込み）